

# 事業活動報告書

(平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)

特定非営利活動法人 国際青少年連合

## 1 事業の成果

- (1) 国際協力ネットワークの強化、特にアジア各国との連携を組み、国際青少年交流活動を展開し海外へ向けて情報発信、特に韓国IYF活動との連携・強化を継続し、またアジア地域のベトナム、タイ・フィリピン・ミャンマーまた、ウクライナとの連携が取れた。
- (2) 開催大会のIYFworldcampinJapanを改め、IYFMindConferenceとし、「若年層の自殺問題+心の世界」とテーマに東京都、教育委員会、また、各国駐日大使館（18カ国）の後援の基に開催。
- (3) 国際文化交流を推し進める中、「IYF海外ボランティア」の学生が一同に会する「ピースフェスティバル」福岡、広島で開催し、各国の文化の紹介と体験発表を行った。
- (4) 団体活動を行うことで海外を含め、青少年交流活動組織と国際文化交流の繋がりが出来た。

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
国際青少年交流事業	「IYF MindConference」の実施。 国際交流事業の体験及び実施。 テーマ：マインドの変化が人生を変え、マインドの変化が世界を変える。	平成29年9月11日～15日	日本IYF主催・代々木/国立オリンピック記念青少年総合センター	実務ボランティア80名	日本：200名 韓国：250名 中国：30名 ミャンマー：35名 タイ・ベトナム・フィリピン他：45名、総計参加者：560名	13,200
国際青少年交流事業	IYF海外ボランティア体験報告会「IYF PeaceFestival」の開催 福岡市、広島市が後援	平成29年2月27日、28日	福岡/サンパレスホール 広島/平和公園フェニックスホール	実務者ボランティア10名	各国大学生中心の参加公演者13カ国・460名が日本上陸	8,300
青少年教育修練事業	老人ホーム慰問ボランティア参加修練活動の実施。 (日・韓・アメリカ・タイ・フィリピン・ベトナムボランティア参加)	平成29年1月～12月	東京都内・埼玉等	実務者ボランティア20名	ホーム施設：20か所訪問 延ボランティア参加：240名	200
青少年教育事業・マインド講演会	IYF/マインド講演会の実施	平成29年1月～12月	東京・大阪 日本縦断公演	実務者ボランティア10名	会場延べ300名参加	300
青少年グループ活動支援事業	IYF学生グループ国際交流MT活動の支援事業実施。 IYFWCの結果報告及び海外ボランティア体験者報告会	平成29年10月11日～12日	東京/新宿地域センター他	実務者ボランティア10名	大学生中心の参加者40名	100
青少年教育事業	IYFの英語キャンプの実施 国際公用語の習得を目的とした教育事業の実施	平成29年3月2日～3月21日	IYF研修センター	実務者ボランティア10名 研修生	中・高・大学生中心の参加者35名	200
海外ボランティア事業	海外での国際ボランティアの募集/広報/養成/派遣事業の実施。日本文化を海外へ繋げる活動を展開	平成29年1月～12月 ネットワーク創造	IYF主催	実務ボランティア10名	2017年度日本海外ボランティア参加者3名 アメリカ・インド	200

## 平成29年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

特定非営利活動法人

国際青少年連合

(単位:円)

科 目	金 額	金 額
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入		
入会金収入		
会費収入	1,313,000	
2 事業収入		
(1)国際青少年交流事業 (マインドカンファレンス、 、ピースフェスティバル他・参加費)	5,932,360	7,245,360
3 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入	0	
民間助成金収入	0	
4 寄付金収入		
(1)会員収入	9,819,800	
(2)民間団体・個人	1,250,000	
(3)I Y F 韓国	1,004,000	
(4)募金活動	2,764,419	14,838,219
5 その他収入		
雑収入	281,000	
利息収入	0	
任意団体からの繰入金	0	281,000
6 その他の事業会計からの繰入	0	
経常収入合計		22,364,579
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1)国際青少年交流事業費 (マインドカンファレンス、 ピースフェスティバル他)		
人件費	480,000	
会場費	3,469,980	
宿泊費	5,426,490	
食事費	1,626,800	
移動交通費	4,108,517	
運営費	2,251,010	
広告宣伝費	2,621,530	
租税公課	1,800	
事務用品費	2,245,264	
手数料	127,130	
		22,358,521
2 管理費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
什器備品費	0	
光熱水費	0	
消耗品費	0	
通信運搬費	0	
印刷製本費	0	
租税公課	0	0

	経常支出合計			22,358,521
	経常収支差額			6,058
III	その他資金収入の部			
1	固定資産売却収入		0	
	その他の資金収入合計		0	
IV	その他資金支出の部			
1	固定資産取得支出		0	
	その他の資金支出合計		0	
	当期収支差額			6,058
	前期繰越収支差額			-922,531
	次期繰越収支差額			-916,473
	(正味財産増減の部)			
V	正味財産増加の部			
1	資産増加額		0	
	当期収支差額(再掲)			
2	負債減少額		0	
	増加額合計			0
VI	正味財産減少の部			
1	資産減少額			
	当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)			
2	負債増加額		0	
	減少額合計			
	当期正味財産増加額(又は減少額)			6,058
	前期繰越正味財産額			-922,531
	当期正味財産合計			-916,473
(注記) . . . . . 備考の5を参照				

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 タイトルの年度の後の空欄部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別葉として作成する。
- 3 定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、前事業年度に実施しなかった場合でも収入支出0円の収支計算書を作成する。
- 4 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、会計処理上は、事業の種類毎に区分して記載する。事業費の例としては、「〇〇事業費」(注 当該事業の実施のために直接要する人件費・交通費等の費用が含まれる。)というように事業毎に記載する。
- 5 重要な会計方針等を計算書類に対する注記を欄外下に記載する。  
(重要な会計方針とは、原価償却の方法及び資金の範囲等をいう。)
- 6 管理費の支出規模(管理費の合計)は、総支出額(事業費及び管理費の総計)に占める割合の2分の1以下であることが必要。(事業費>管理費)  
(詳しくは東京都における運用方針参照のこと。)
- 7 特定非営利活動促進法第5条第1項により、その他の事業において収益を生じたときは、これを特定非営利活動のために使用しなければならないとあるので、その他の事業の収益は特定非営利活動に係る事業会計に全額繰り入れることが必要。  
(詳しくは東京都における運用方針参照のこと。)

## 平成29年度 会計貸借対照表

平成29年12月31日現在

特定非営利活動法人 国際青少年連合

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	33,527	
未収入金	0	
流動資産合計		33,527
2 固定資産		
土地	0	
建物	0	
車両運搬具	0	
固定資産合計		0
資産合計		33,527
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	0	
未払金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給与引当金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		-922,531
当期正味財産増減額		6,058
正味財産合計		-916,473
負債及び正味財産合計		-916,473

## 平成29年度 会計財産目録

平成29年12月31日現在

特定非営利活動法人 国際青少年連合

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金予金			
現金	33,527		
普通預金 三菱東京UFJ銀行 大塚支店			
未収入金			
未収会費 (年度名)			
流動資産合計		33,527	
2 固定資産			
土地 所在/㎡	0		
建物 所在/㎡	0		
車両運搬具 乗用車/台	0		
固定資産合計		0	
資産合計			33,527
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金 銀行/支店	0		
預り金 職員に対する源泉所得税	0		
未払金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金 銀行/支店	0		
退職給与引当金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			33,527



## 社員のうち10人以上の者の名簿

(就任期間：平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)

特定非営利活動法人 国際青少年連合

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	菊池 七郎	
2	天達 泰郎	
3	青木 寿一	
4	小野 隆司	
5	大塚 文好	
6	立河 義行	
7	朴 桂彦	
8	佐藤 順子	
9	朴 政姫	
10	宋 丁順	
11	孫 鎬順	
12	篠井 範子	